

シアトル別院時報

43巻2月号

ご門主よりお見舞い

2024年度 BCA 教化標語

今がその時

シアトル別院お見舞い

このたびの火災に際し、心よりお見舞い申し上げます。シアトル別院へは、2019年9月に参拝させていただきました。メンバーの皆さまが、浄土真宗のみ教を聞き伝える場所としてのお寺を受け継がれている様子を拝見し、たいへん有り難く、また心強く思いました。私たち浄土真宗のみ教を依りどころとする者にとって大切な場所であるお寺が放火されたことを大変悲しく思います。新型コロナウイルス感染症の影響もあるなか、さらなる困難になりますが、メンバーの皆さまが力を合わせて、引き続きお寺を守り、発展させられますことを願っております。

Dear Seattle Betsuin Buddhist Temple members and friends,

Following the recent fire at Seattle Betsuin Temple, I would like to extend my heartfelt sympathy to the sangha. I was fortunate to have had a chance to visit your temple in September 2019. During my visit, I was able to see firsthand the Betsuin which you cherished as the place for sharing the Jodo Shinshu teaching, and for that I was assured as well as grateful. Therefore, it was shocking to learn that such an important place for those who embrace the Jodo Shinshu teaching became a target of arson. Not being discouraged by this hardship in addition to ongoing concerns dealing with COVID-19, I truly hope that you will continue to work together in sharing the Dharma and supporting one another as a sangha.

In gassho with warm regards,

Monshu OHTANI Kojun
Jodo Shinshu Hongwanji-ha



今日のご法話

“火事からの復興”

輪番 楠 活也

“前に生まれんものは後を導き、
後に生まれんひとは前を訪へ”

『教行信証』化身土文類 後序



大晦日の夜、シアトル別院で放火による火事がありました。火災が発生した場所は、メモリアルホールの地下倉庫です。そこに置いてあった、いろいろな道具や資料が燃えてしまいました。放水による水のダメージ、炎による熱のダメージもあります。火災により発生した煙（ガス）や煤は、お寺中に広がっています。プロの清掃業者さんの作業が済み次第、今度は皆様のお手伝いもいただきながら、お寺をきれいにしていかなければなりません。現段階では、お寺が完全に再出発するまでどれくらいの日数がかかるのかは、不明です。

これまでの間にも、様々な方がこの火事からの復興のために働いてくださっています。火事発生後すぐにメンテナンスの方々や有志の方が、お寺を掃除し、仮の修復してくださいました。保険会社とのやり取りをしてくださっている方もおられます。焼け残ったお寺の貴重な資料を何とか保存できるように働いている方もおられます。お寺の復興に向けて、多くの方から寄付もいただいております。ホワイトリバー仏教会やタコマ仏教会をはじめ、近くの寺院や教会、コミュニティの方々、それぞれの建物をどうぞ使ってくださいと、声をかけてくださっています。本願寺の御門主様もお見舞いのお言葉を送ってくださいました。シアトル別院は、本当に多くの方に支えていただいているのだと、改めて感じました。シアトル別院を支えてくださっている皆様にただただ感謝です。

火事の後、消防署の方が来て教えてくださいました。

「煙などの被害は、お寺中に広がっていますが、炎は地下倉庫から外へは広がりませんでした。それは、天井にドライウォールがきちんと取り付けられていたからです。この建物が建てられたときに、きちんと火事のための対策がなされていたんですね。」

シアトル別院のメモリアルホールは、親鸞聖人の700回大遠忌を記念して、1964年に建立されました。今からおよそ60年も前のことです。もしその当時のお寺のメンバーが、“地下倉庫が火事になるなんてないだろう。経費もかかるしドライウォールはいらないだろう”と考えドライウォールを天井に取り付けなかったら、今回、メモリアルホールは全焼していたかもしれません。その炎は、本堂や私たちが住む開教使住宅にまで広がっていたことも考えられます。本当に恐ろしいことです。また同時に、このお寺は、60年前のお寺のメンバーの方々に、今も守っていただいていたんだと、感謝の思いでいっぱいです。次は私たちが、10年後、50年後、100年後のメンバーを守ってあげられるように取り組む番です。

シアトル別院の復興と寺院活動の再開に向けて、これから何をしていかなければならないのか、どういうふうに進んでいったらいいのか、みんなと協力して考えていかなければいけません。その中で、今、私が考えていること二つを紹介いたします。

一つは、聞法する機会を絶やさないことです。お寺はしばらく使えないかもしれませんが、お念仏の繁盛のために、できる活動を続けていくということです。シアトル別院のサンガが一堂に会してお参りをするというのは、しばらくできないかもしれません。しかし、小さいミーティングルームを借りたり、他のお寺のサービスに参加させていただいたり、オンラインでのお参りを企画したりしながら、布教、伝道活動は続けていくことができます。今は、できる活動をできる範囲で続けていくことが肝要です。ニュースレター、ウェブサイト、E-mailなどでお寺の活動をお知らせしますので、ぜひ、ご参加ください。今こそ、人生は苦なりといわれたこの道を、お念仏の行者としてどのように歩いていくのかを聞かせていただくときです。しっかりお聴聞ください。

もう一つは、シアトル別院が寺院活動を再開したときに、シアトル別院が、前まで以上に安心して仏法を聞くことができ、みんなが楽しく集える場にするということです。そのためには、火事による破損やダメージを修理し、掃除するだけでなく、セキュリティ面や安全面などをより強固にする必要もあります。お寺の内陣も煙によるダメージを取り除くだけでなく、この機会に、きれいに修復することを強く願っています。シアトル別院が、みんながより快適に集うことができるお寺になるようにこの復興を進めていきたいです。今から、10年後、50年後、100年後のシアトル別院のサンガが笑顔

2月の予定

- 1日(木) 1時半 日系マナー法要
 - 4日(日) 10時 スカウトサンデー法要
二世ベッツ・ホールにて
 - 6日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
 - 11日(日) 10時 大人の法要
デンショウにて(席の数に制限)
10時半 九条武子夫人・大谷篤子お裏方 追悼法要 白河仏教会にて
英語のご法話 アン・スペンサー師 (IOBT)
 - 13日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
6時半 夜の勉強会 ZOOM
 - 15日(木) 1時半 日系マナー法要
 - 18日(日) 10時 大人の法要
デンショウにて(席の数に制限)
11時 別院総会 ZOOM
 - 19日(月) 事務所休み
 - 20日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
 - 25日(日) 家族法要・子供法要
バーチャル
 - 27日(火) 9時半 日本語法座 ZOOM
 - 28日(水) 11時 メリル・ガーデン法要
- 月曜日・水曜日(半日) 楠輪番 休み

でこのお寺に集うことができる、そういうお寺になるようにこの火事からの復興プロジェクトを進めていきたいと思っております。

お寺が完全に再開するまでには、長い道のりとなりそうです。お金も時間もかかります。シアトル別院は、みなさまのためのお念仏の道場として、みんなが笑顔で集えるお寺として再興しますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

日本語のメール・アドレス。 seattlebetsuin.nihongo@gmail.com

・ 祥月法要のお名前が英語面に掲載されます。

シアトル別院では現在、お葬式・メモリアルサービスは出来ません。場所をお確かめください。

3月のスケジュール

23日 日本語お彼岸セミナー デンショウにて
24日 春のお彼岸法要 タコマ仏教会にて
海谷聡之総長 本派本願寺ハワイ仏教団

BCA の "Dial The Dharma" (テレホン法話) というのをご存知でしょうか。インターネットができない方でも、電話で短い日本語の法話が聞けます。(英語もあります) 英語は毎週原田総長がお話しされます。日本語は、日本語ができる開教使が順番で法話をします。法話は毎週水曜日に新しいものに更新されます。法話は5分以内のものです。電話番号 1-800-817-7918、その後英語であれば1を日本語であれば2を押せば聞くことができます。

ダーマ・スクール・ニュース

お寺にとっては大変困難な新年のスタートになりましたが、サンガの皆様や地域の人達の支援に感動しています。西北部のお寺から一緒に御教えを聞く機会をいただいております。1月14日に白河仏教会で合同法要がありました。21日にはダーマスクール(DS)の家族が白河仏教会の新年会に参加させてもらいました、他の家族はタコマ仏教会でのDS餅つきに参加し歓迎してもらいました。DS理事や先生達で今後のプランを考えています。2月4日に二世ベッツ・ホールで予定されているスカウト・サンデーにサンガの皆さんが参加して支援をお願いします。お寺のリーダーシップに感謝すると共に私たちも別院の修復にお手伝いする用意をしています。 合掌



写真はタコマ仏教会での餅つきの参加者

イベット寺田、クレア村田、ダーマスクール責任者



写真は報恩講法要 ジョー・ゴチより

上より上段 マット・メイ師、矢崎シンディー師、ロザリー・メイ師、後藤アイリーン師
 後列 楠活也輪番、大内祐真師（トロント仏教会）
 小山忠男師 右： 大内師 楠輪番



ミュージック・ノート

ケミ中林

大晦日の夜と2日後の再発火により印象が薄れてしまった昨年の大晦日の除夜会ですが、老若男女の多くが法要に集まりました。その後梵鐘をつき、軽食をいただきとても素晴らしい機会に参加者は楽しい時間を過ごしました。クリスティー・カーペンターの曲を使わせてもらいました。そして、1月14日の白河仏教会での報恩講の天候を心配しましたが無事にできました。シアトル雅楽グループは素晴らしく、ノースウエスト・シンガーズも集まることができて「宗祖讃仰作法」音楽バージョンの「正信偈」と「和讃」「念仏」を披露しました。楠先生、小山先生、大内先生のリーダーシップにより雅楽演奏者が集まった素晴らしい機会になれたことに感謝します。



別院で音楽を演奏することが当分出来なくなりましたが、オンラインでBCAの音楽ニュースレターを見ることが出来ます。

buddhistchurchesofamerica.org/music

パロ・アルト仏教会のシドニー城山とそのグループが「リズム・フロー・太鼓」に参加、オンラインのクラスが2月21日に始まります。このクラスはシニアの方のために太鼓の動き、認知、社会との関わりなど学ぶクラスです。このクラスは最初パーキンソン病の方のためにデザインされましたが楽しく、その他の多くの方に有益なことがわかりました。経験は必要ありません、お家にあるもの、ピローとか、木のスプーンを使えます。また、BCAの盆踊り太鼓コミティーは3月1日ウェブナーで盆太鼓についてセミナーを開きます、これは我孫子先生へのトリビュートとして、数々のプレゼンターが参加します。ポスターを見て参考にしてください。ぜひレジスターしてください。



2月25日のBCAのハイブリッドによる永代教法要をご覧ください。BCAの法輪2月号ではデニス山下がシンジ・エシマについて投稿しています。シンジさんはBCAの永代教法要で歌われる「In Amida's Light」をつくられました。この曲は sacrament 別院のクワイアーがパフォーマンスします。(注: エシマさんは有名な音楽家、作曲・作詞家で大学でも教鞭をとられています。他に私たちがよく歌う「イン・ア・クワイエット・バレー」も彼の作品です。)



写真は: ジョー・ゴチから報恩講法要での様子です。
 右上: ノースウエスト・シンガーズ、楠先生の笙。



Keeping the Beat:
 A Bon Daiko Webinar Featuring Kinnara Taiko, Maui Taiko, Tiffany Tamaribuchi, and Isaku Kageyama


 Tiffany Tamaribuchi


 Isaku Kageyama

The "Keeping the Beat" webinar will feature a panel discussion on Bon Daiko (Obon drumming) with Kinnara Taiko, Maui Taiko, Tiffany Tamaribuchi, and Isaku Kageyama. The webinar will include a short history of Bon Daiko and a tribute to Reverend Hiroshi Abiko. Developed by the BCA Music Bon Odori/Taiko Subcommittee and co-sponsored by the Center for Buddhist Education.


 Kinnara Taiko


 Maui Taiko

Saturday, March 2, 2024
10:00 - 11:15 a.m. (PST)





Registration: <https://bit.ly/bondaikowebinar>

2024 NEW CLASSES
6-WEEK SESSIONS

RHYTHMIC FLOW
TAIKO

2/21, 2/28,
 3/6, 3/13,
 3/20, 3/27
 3PM-4PM
 ON ZOOM

REGISTER NOW AT
WWW.RHYTHMICFLOWTAIKO.ORG



別院維持会会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラム（オンラインのライブ配信、バーチャル法要、レクチャー費用、メディテーション費用、ブック・勉強会費用など）の経費になります。BCAの会費と西北部会費はお納めの維持費の中から別院が会員数を支払っています。70歳以下は最低400ドル、70歳以上は350ドル、30歳以下は200ドルです。分割で納めることも可能です、すでにお納めの方々がありがとうございます。2024年度の会費をお納めになられた方々のお名前が英語面にあります。

婦人会便り

鹿島加奈子 シアトル別院婦人会共同会長



別院婦人会の活動基本方針（ミッション・ステートメント）

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること：シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する：

婦人会の新しい役員が決まり、次期会長に仕事の分担の受け継ぎをするので今月の記事が私の最後となります。会員の皆さんに別院の一部として、いろいろな婦人会の活動をお知らせする4年間は楽しかったです。別院婦人会は浄土真宗婦人と出会える素晴らしい集まりです。私も多くの友人と出会いました、そして会員の皆さんはいつでも、どんな場合でも助けてくれます。

放火の被害で多くの活動が別院の修復後まで延期となりました。修復できるまでの間、私たちは白河仏教会とタコマ仏教会で婦人会主催の合同法要を行います。

白河仏教会での合同報恩講では「にごめ」のお供えを川原律子夫人が作りました。法要に出席及びYouTubeでご覧の会員の方々に感謝します。

2月11日に白河仏教会で九条武子夫人と大谷籌子お裏方追悼法要を合同で行います。10時半より。婦人会の総会・慰労会は2月25日にテリーズ・キッチンにて開きます。詳細はお手紙でお知らせします。

“合掌 フロム ダ ハート”

（この曲は世界仏教婦人会大会で米国代表がステージで歌いました）

